

2. 報告事項

(1) 平成 30 年度下半期の発注工事等にかかる入札・契約手続きの運用状況等について

【様式 1、様式 2】

(2) 競争入札等参加資格停止等の運用状況について

【様式 3】

(3) 談合情報対応状況について

【様式 4】

(4) その他

・令和元年度第 1 回定例会案件の抽出結果について

【資料 No. 1】

・平成 30 年度第 2 回定例会議事概要の公表について

【資料 No. 2】

・令和元年度発注見通しの公表について（工事）

【資料 No. 3】

・平成 30 年度第 2 回定例会資料（様式 1～様式 5-2）

【資料 No. 4】

・過去 6 回分の総契約件数の一覧表（様式 1）

【資料 No. 5】

意見・質問	回答等
<u>報告事項について</u> ○平成 30 年度下半期の落札率が平均 90.2%となっている。過去 3 年分と比較すると若干落札率が上昇傾向にあると思われるが、理由については、何が考えられるのか。 ○様式 2 (P11) の「東第 2 浄水場太陽光発電設備復旧工事」の落札率が 100%、「長岡第三中学校屋上防水復旧工事」の落札率が 99.55%、「馬ノ池川雨水幹線水路床版設置工事」の落札率が 99.92%と 100%近いものもあるが、契約方式によってこのような高い数字となるのか。	・具体的な要因は把握できていませんが、昨今、国の方でも、下請業者に対する過度な工事原価縮減の圧力防止対策等、様々な対策がされているところで、事業者も適切な賃金を下請業者等に支払っていくことが推進されます。そういった中で、賃金等を確実に確保するため上昇しているのではないかと考えています。 ・この件については、特命随意契約です。1 社から見積もりをいただき、金額が下がらないか交渉していく中で、この金額に落ち着いたという状況です。結果、落札率が高くなっています。